

徒然の記

このところの我々を取り巻く自然のこと、人の世のことなど、尋常でないことがあまりに多く、われもまた先人の思いしごとく「徒然なるままに・・・」と、己の思いを綴ってみようと筆を執った。思いのままに、思いしときに、書き綴るものであれば、他愛もないこととして、読み流してもらえれば尚良し。

然れども、この一葉を読みし者よ、思いあらば、彼の思い聞かせ給へ。空ろに散じてしまうメールというものが良からう、以下に散らせ給え。 masao.shimada@rfdevicetech.co.jp

[2011年7月6日(水)記]

2021年5月30日

地球温暖化が騒がれる中、最近ではむしろ寒冷化の議論が騒がしくなっている。温暖化については、いまだにCOP(国連環境開発会議)を中心に温暖化の原因としてCO₂の増加が議論され、加盟国のCO₂削減が騒がれている。これはいまだにCO₂が増加し続けており、地球温暖化がますます進むことが懸念されているためである。しかしながら先に挙げた様に、むしろ今後寒冷化が懸念され、近年、世界はもっぱら異常に寒冷化が進んでいることがあげられているのにも関わらず、COPでは相変わらず温暖化、CO₂削減の話が取り上げ続けている。寒冷化が恐ろしいのは、世界がたちまち食糧不足に陥るからだ。現状世界の寒冷化のため、近年穀物の不作が続いている。中国などでは既に世界各国から穀物の買い占めが行われているといわれている。このため世界各国はCO₂の排出を抑えようと、エネルギー需要を賄うため、原発や自然エネルギーの利用を促進している国も目立つ。ただ原発については、アメリカ、スリーマイル島、ソ連、チェルノブイリ、近年では日本の福島第一原発の事故が繰り返され、多量の放射性物質の環境放出事故が問題となったにもかかわらず、いまだに各国で原発を推進している状況が続いている。多分原発推進による利権がらみの裏がありそうだが。一方、自然エネルギーはCO₂排出、放射性物質の排出は0として期待されているものの費用も含めなかなか進まない。振り返ってみれば、日本はエネルギー供給のベース電源を原発とすることを決め、推進に力を入れている。私はこの原発稼働に反対と考えている。やはり原発廃棄物(放射性物質の製造過程を含め)、放射性物質を含んだ冷却水を初め、事故が起これば放射性物質を外界にまき散らす。これまで人類が拡散してきた産業廃棄物、公害物質等これらは自然界で、ほぼ無害化して外界に放出できた。これに対して放射性物質は現状無害化できない。このため原爆の後遺症に、今だに苦しんでいる人もいるし、原発事故を起こした地では放射性物質のためいまだに元の生活戻れない人がいる状況だ。なのに原発をさらに増やす計画を立てている。地震国日本ではさらなる原発事故が起こる確率はさらに高くなるばかりである。ただ確かに寒冷化が毎年進んではいると言え、両極の氷の溶け方は進んでいそうだし、氷河の崩壊などのよく聞かれる。私は地球寒冷化を支持しているもののCO₂増加等もなかなか歯止めがかからない。なんでなのだろうかと思っていたが、最近よく見ているニュースブログで海水の温暖化が、原発の冷却水が原因ではないかと言う意見が述べられていたのを聞いて、寒冷化が進む一方で海水の温暖化が進んでいる理由がわかったような気がした。原発の冷却水によるものではないかということも挙げていた。またCO₂の増加もこの温暖化により、海水中のCO₂が蒸発しているのではないかとされている。CO₂の増加が先進国、さらに発展途上国のCO₂排出が原因でCO₂増加を促進しているといわれるが、むしろ原発が増加して海水を温めているためではないかと思われる。私も寒冷化が進む中で、海の温度が下がらない原因はこの辺にあるのではないかと思うようになった。各国の原発が増加するにつれて海水を冷却水として取り込み、温排水を海洋に投棄する。地球の海は無限であると思われるが、やはり有限の代物であるし、膨大な量のCO₂を溶解しているため少し海水温が上がれば、CO₂が大気に放出

されるのだろう！世界の原発の稼働量はかなり増加してきた。この問題はもう少し丹念に調査する必要があるのではないかと思われる。大気は寒冷化に動いているのに、海水は温暖化すればますます気象異常も激しくなるであろう！日本は福島原発事故でたまったトリチウムを含んだ水を希釈して海洋投棄しようと考えている。各国がこれに反対しているが原発冷却水にもこの放射性物質が多量に含まれているといわれている。温排水投棄とともに見逃せない問題なのではないかと思う。今後この点にも着目して地球温暖化を考えていこうと思う。この記事を書いている文章を他にところで紹介した。